

2025年5月31日(土) 保護者委員会 兼 運営委員会 議事録

【開催日】 2025年3月15日(土)9:35~10:45 1 歳児室

【参加者】 園長、第三者委員、きりん保護者代表×2、ひよこ保護者代表

1：自己紹介

2：事業報告について

園長より、文書指摘の内容と至った経緯の説明

3：事業計画を含めた意見交換

園長より

- ① 保護者委員会や保護者交流会などで得たご意見などを、職員会議や園長会で意見を伺う、役所の見解を確認するなどして、運営に反映させている。
- ② 認可保育所となり、保育室の頃よりも守らなければならないことが増えている。そのため、毎年、様々な観点での見直しがあり、保護者の方にも対応方法の変更などをお願いすることがある。
- ③ 持ち物のお知らせ等、掲示板に記載している内容のご家庭内での共有方法について
 - ・ 小学生以降には子どもから情報が届かなくなるなどがあるため、園ができる支援は、ご家庭内での情報共有の方法をお伝えすることと考える。
- ④ 与薬について
 - ・ 認可保育所になって3年半が経ち、細かい部分で行政の定めとの齟齬を確認している中、看護師等からの意見もあり、与薬について見直しを図っている。

保護者委員より

 - ・ 病後であれば家庭で様子を見る等の判断はできるが、罹り始めの登園判断の目安が付きにくい。基準が難しい。

第三者委員より

 - ・ 病児病後児保育が少ない現状である。
- ② 育児体験、職場体験の説明

保護者委員より

 - ・ どのように過ごしているのか？
⇒ 9時30分頃から散歩に同行したり室内遊びで共に過ごし、給食を食べる姿を見守ったり励ましたりして、12:30頃に終了。

園長より

 - ・ お子さんたちには家庭でも学校でもないサードプレイスが必要とされている。
 - ・ 大人とは違う「園児よりも少し年長の子ども」の存在は、園児たちにとっても嬉しい存在。
 - ・ 保護者の顔が見える・連携を図れるご家庭であることが条件にはなるが、不登校などの課題を抱えている児童・生徒を受け入れており、今後も行っていきたいと考える。
 - ・ きっかけは小学生となった卒園児が遊びに来たことから、事業として取り組み始めた。
- ③ 三軒茶屋で歴史のある保育施設であることについて
 - ・ 第三者委員のお子さんも3人、30年以上前にお預かりしている。
 - ・ わが子の前に甥が通っており、甥は信頼しているご近所の方が卒園児であり紹介されたから。
 - ・ お孫さんをお預かりすることが増えてきている。
- ④ 主任が二人になった
 - ・ 主任が一人で仕事を抱え気味であり、一人では難しい場面も多くあるため、主任・副主任という縦列関係ではなく、同列の主任二人体制とした。
 - ・ 副主任であった紫先生は、時短勤務であるため法令的に主任保育士とすることはできないが、園内においての制約はないため5月より任命。
 - ・ 保育の部分主任2人で確認し合いながら、保育者の職務について園長と主任の3人で相談しながら進めている。

⑤ 子ども同士の絡みの受傷について

保護者委員より

- ・ 子どもがケガをした際、「相手の名前を教えてほしい」という場合の対応
 - ⇒ 痛い思いをしたお子さんも手が出たり口が開いたりせざるを得なかったお子さんもどちらも不快な思いをしているということから、基本的には言わない。
 - ⇒ 言葉が増えてくるとお子さんがご家庭で「Aちゃんにやられた」と言うことがある。しかし、子どもの発達過程において、嘘をついているということではなく、妄想と現実とに齟齬が生じている場合もあり、その相手の名前を間違えていることがある。保護者の心理的状态を確認しながら、正しい情報が伝わるように関わっていく。

⑥ 保育者の名前が分からない。

- ・ 挨拶の基本として「〇〇先生、ありがとうございます」など、名前で挨拶をしたいので、先生方の顔と名前を一致できるものがあるとありがたい。
 - ⇒ エントランス掲示の「バス」に写真を貼るよう再度促す。

⑦ 避難訓練について

保護者委員・第三者委員より

- ・ 保育者の人数や内容など、報告があると安心できる。
- ・ 昨今の通り魔的な事件を受けて、外出先での不審者対応訓練が必要だと考える。
- ・ 対応する道具などは持ち歩いているのか？
- ・ 警察に防災グッズなどを確認して持ち歩くと良いのではないかと

園長より

- ⇒ 5月の避難訓練は、避難先である丸山公園まで5分以内に移動完了。昨年度は概ね3～5分で園から全員退避できた。
- ⇒ 行先が告知している場所と変更になった場合、必ず、スマホを用いたツールで連絡が来る。
- ⇒ 公園に着いたら、最初に誤飲などの事故予防のため、ゴミを拾っている。それが公園内にいる人々を確認したり、安全に遊べるかを検討する時間になっている。
- ⇒ 公園に着いた時にそこにいる方や、後から公園にいらした方に、園職員から挨拶をしている。
- ⇒ 公園に着いた時に工事中や人が多いなど遊べる状況ではない場合など、行先を随時変更している。この「遊べる状況ではない」の中には「不審な様子の方がいる場合」も含まれる。
- ⇒ 防犯ベルや催涙スプレーなど、持ち歩くことを検討する。

⑧ 保護者より：他の保育園でカートの「写真を撮らないでください」と明記してあった。

園長より

- ⇒ かわいらしさから写真に収めたくなる方もいるかもしれないため、抑止につながる取り組みを検討する。

第三者委員より

- ・ 三軒茶屋地域は外国人の旅行者も多く、民泊も増え、外国人の居住者もいるなど、多種多様な方が居住している。
- ・ 三軒茶屋町会でも不審者などへの取り組みを行っている。
- ・ 子どもの育ちを中心に考えていくことが大事。ペーパーレスによる簡便さだけでなく、配布印刷物は親子のコミュニケーションの材料にもなる。